

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	女性脳神経外科医における学術活動の推進とキャリアアップ
別タイトル	Promotion of academic activities and career advancement among female neurosurgeons
作成者(著者)	周郷, 延雄
公開者	東邦大学医学会
発行日	2023.09.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 70(3). p.143 143.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	論評
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2023 010
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD59504800

女性脳神経外科医における学術活動の推進とキャリアアップ

日本において女性医師数の割合は年々増加し、2018年には21.9%を占めている。近年の女性医師数の増加に伴って、外科系女性医師の勤務に関する問題がクローズアップされ、ジェンダーバイアス、ワークライフバランス、ダイバーシティなどが注目されている。日本の脳神経外科施設に関する調査をみると、女性医師の良好なワークライフバランスの維持を困難にしている原因として、夜間保育や病児保育が少ないことが報告されている。また、これらの勤務施設からの支援の欠如は、日本の女性脳神経外科医が常勤を辞める理由のひとつであるとされる。海外の女性脳神経外科医に関する報告においても、不適切なワークライフバランス、ジェンダーバイアスや過小評価、指導的地位の少なさ、ダイバーシティの不足、セクシャルハラスメントが明らかにされている。特に妊娠、出産、育児などのライフイベントは、そのワークライフバランスに関わる主たる原因のひとつとなる。米国の女性脳神経外科医の39%はレジデント期間中の妊娠は困難であるとし、臨床に従事していない期間に妊娠および出産することが有意に多い。これらのワークライフバランスを主体とした問題は、就労のみでなく、学術活動の推進およびキャリアアップにも強く影響すると考えられる。米国の脳神経外科関連学会について、女性の学会での地位、基調講演や招待講演のデータを調査したところ、すべての項目で女性の不均衡な過小評価が明らかにされている。このようなジェンダーバイアスを払拭するためには、学会開催の会長によるネポティズムによる選定ではなく、別の客観的な基準を作成することが期待される。また、ライフイベントによる学術活動の抑制に対応するために、脳神経外科施設での柔軟な勤務時間や勤務体制の変更による学会参加促進と、学会場での託児所の設置など、多方面からの協力が必要であろう。学術活動の推進およびキャリアアップにおいて、学術業績の根幹を成す論文

の執筆は重要であり、海外の調査では、女性脳神経外科医による筆頭著者数の増加が示されている。過去20年間(1998~2018年)のNeurosurgery, Journal of Neurosurgery, およびWorld Neurosurgeryにおいて、女性の筆頭著者は19.0%を占め、3つのジャーナルすべてで女性筆頭著者数が増えている。また、さらなる女性筆頭著者数の増加を図るために、女性に特定の雑誌号、女性の社説の奨励、よりジェンダーバランスの取れた編集委員会への取り組みが役立つと述べられており、日本においてもこれらの戦略が検討されるべきであろう。脳神経外科関連学会の女性役員の少なさもまた、女性医師のキャリアに関する世界的な問題として提起されている。その基本的な原因は脳神経外科の女性研究者と男性研究者のプロフィールの違いであるとされる。最近の報告によると、米国およびカナダの大学における脳神経外科の女性研究者数は全体で12%を占めるが、主任教授は5.8%と少ない。また、女性の教授は資金調達への機会、補助スタッフなどの面で少ないリソースしか受け取っておらず、学術的生産性に強く影響していると考えられている。男女でのプロフィールの違いは、女性医師が自身の能力を過小評価することにもつながり、その結果、若手の研究職への応募や世界的に優れた脳神経外科施設での指導を求め難くさせる可能性がある。

女性脳神経外科医の学会での活動や筆頭著者としての論文執筆の推進、学会役職への積極的な就任を促進してキャリアアップを図ることは、ジェンダーバイアスの改善とダイバーシティの推進へとつながり、近い将来には、女性脳神経外科医数の増加や離職率の減少とともに、脳神経外科領域全体の発展へと導くものと期待されよう。

(東邦大学医学部脳神経外科学講座(大森):周郷延雄)

DOI: 10.14994/tohoigaku.2023-010